

第15次秋田市総合計画 基本構想（原案）に対する意見一覧

提出No.	意見No.	意見内容	市の考え等
1	1	秋田に住んでいると〇〇でなければならないという固定観念が強く親や親戚、上司もうるさく逆えないという声を聞きます。都会に行くと大変でも自分で考えて自分で行動出来るので、自分自身でいられるようです。Uターンして帰って来た方も「秋田は何もないのでつまらない」という声を聞きます。	次期総合計画においては、目指すべき本市の姿である基本理念を「響きあう 心躍る 人・まち・くらし～共感と共創で輝く秋田市へ～」としております。 自分らしい生き方や挑戦をためらわない環境づくりとそれを後押しする気運の醸成などを通じて、多様性や寛容性から生まれる「共感」と、人と人が交わり、活動や体験を共有し、喜びを分かちあうことにより、新たな価値をともに創造する「共創」につなげ、明日への期待やまちへの愛着が生まれるよう取り組んでまいります。
	2	駅前(西口)は、千秋公園、ミルハス、なかいち、市民市場・ホテルもあり充実して来ました。バスも便利になり良いと思いますが、ミルハスやなかいちで催し等がある時、駐車場の不足なのが残念だなと思います。熊の出没の事もあるので、駐車場を充実してほしいと思います。木内デパートも良いデパートでしたが、今は閉まったままです。駐車場もとても助かっていました。気になります。	あきた芸術劇場ミルハスやエリアなかいち等の各施設のホームページでは、近隣駐車場情報やバスの運行状況、商店街共通駐車券の利用場所などを発信し、利用されるかたの利便性向上に努めているところで、今後も中心市街地の公共交通をはじめとした交通利便性の確保や歩いて楽しめるまちの魅力向上などにより、来訪者が利便性と滞在快適性を感じられるよう努めてまいります。
	3	小さい頃から秋田の事に関心を持つ事も大事だと思います。昔、小学校の時に県民会館に出かけ芸術に触れたり、学校の体育館で映画を見たりした事を覚えています。伝統芸能、なまはげだいこ、羽川剣ばやし、竿燈おはやし、ヤートセ、西馬音内の盆踊り、ぼんでん、土崎の祭り等、まず秋田の伝統や文化を知る事が大切だと思います。介護の仕事をしていた頃、竿燈会の方々もいろいろな施設に来てくれて竿燈を見せてくれました。施設の方々とこどもたちが触れ合う様子が私も嬉しく皆様も楽しみにして応援していました。	秋田の伝統や文化を知ることができる取組として、羽州街道沿線の文化財等を会場に、秋田の歴史・文化を楽しむイベント「羽州街道歴史まつり」や、郷土秋田を学び、考える文化講演会「市民文化のつどい」を毎年開催しているほか、民俗芸能伝承館において、民俗芸能の合同発表会や学習講座などを開催しております。 また、小・中学生を対象に、伝統芸能等を体験できるイベントの開催に加え、希望に応じ、文化施設職員が講師となり学校で出前授業を行う取組を実施しております。 今後も、いただいたご意見を参考とさせていただきますながら、教科等の学習を通して、秋田への関心を高め、郷土の発展に積極的に関わろうとする姿勢をはぐくむ教育を推進してまいります。

提出No.	意見No.	意見内容	市の考え等
	4	<p>皆で共同で何かをする事が秋田市民として出来たら良いと思います。</p> <p>現実どうすれば良いとか予算等もわかりませんが、秋田県民一人一役で映画作り等、皆で何かをする事に取り組む事が出来たら良いなと思います。秋田県の映画だと知事さんや市長さんはとても忙しくなるとは思いますが、各町内の方々を中心にワンコインの寄付を集めて資金に協力を求める等、音楽は、大いなる秋田、県民歌をテーマにしたり、佐竹様、久保田城の歴史、伝統芸能、農業、林業等、特に久保田城の歴史や待は外国の方や観光客の方も興味を持つと思います。私の実家は鍛冶屋でした。竿燈のちょうちんの模様や名前、城下町についても知りたいです。音楽は各学校の吹奏楽部の生徒さんや秋田吹奏楽団の方をお願いしたり秋田の歴史については大学の方々、舞台は美術学校の方々、使っていない空家を提供してもらったり家で使っていない服や着物を提供してもらったり縫い物の得意な方には衣装等、関わっている家族やまわりの方々を応援したり、何か秋田の人が一つになってやれる大きな事があれば老人も若者も子どもも生き生きと過ごせると思います。そしてその大きな事が、若い方々の将来の雇用につながっていったり皆が目標を持って過ごしていけるのではと思います。</p>	<p>市民一人ひとりが役割を持ち、世代を超えて共同で何かに取り組むことは、地域への愛着や誇りを育む上で大切な視点であると認識しております。中でも、文化や歴史、芸術などを通じて多くの市民が関わる取組は、地域資源への理解を深め、交流の機会を生むものと考えられます。</p> <p>いただいたご意見を参考とさせていただき、市民が共同で本市の魅力の掘り起こしや発信ができる取組を引き続き検討してまいります。</p>
1	5	<p>スポーツもバスケット、サッカー、ラグビーと盛んになってきていて、がんばっているの、将来、秋田のチームに入ってやってみたいという子どもたちが増えるよう、芸術、スポーツ、文化の秋田県になってほしいです。</p>	<p>秋田ノーザンハピネッツ、ブラウブリッツ秋田、秋田ノーザンブレッツ、アランマーレ秋田の各チームは、小学校等に出向いてのスポーツ教室の開催やジュニアスクールの立ち上げなど、子どもたちがスポーツに触れる機会の創出に積極的に取り組んでいるところです。本市としても各チームが行うこれらの活動に対し、引き続き協力し、子どもたちがスポーツに親しむ環境の整備に努めてまいります。</p>
	6	<p>秋田は冬が大変です。地域に住んでいる女性の方々も雪かきをしていますが、私もかなりの時間をかけてした事を、息子が仕事から帰って来て、短時間でやってしまいます。若い人たちの力はすごいなと思います。若い学生の方々が力を貸してくれたら本当に助かると思います。</p>	<p>本市では、「高齢者雪寄せ支援事業」として、秋田市シルバー人材センターに業務を委託しており、高齢者のみ世帯等を対象に玄関から道路に出るまでの通路の雪寄せ支援を行っております。</p> <p>いただいたご意見は、今後、学生の方々が様々な活動に参加しやすい仕組みづくりを検討する際の参考とさせていただきます。</p>
	7	<p>県外に出た方でもいつか秋田の事を思いウターンして来てほしいです。他県の方も秋田はおもしろい市や県だなと思ってもらえたら人が増えるのではと思いました。</p> <p>秋田の方は、「うるせども、あったけど」「また秋田にけな、まってるど」これからも秋田に来た方々を温かく迎えらる秋田の一人でありたいです。</p>	<p>本市で暮らすことの魅力を、若い世代を含めた市民の皆様にご認識してもらえよう取り組むことで、一度は首都圏等へ転出したとしても、就職、子育て等の各ライフステージ段階で、「帰ってきたいまち」として本市で暮らすことを選択できるよう、雇用環境や子育て環境等の充実を図るとともに、本市の魅力等について情報発信してまいります。また、市民の皆様にも、秋田市の魅力を内外に伝えていっていただきたいと考えております。</p>

提出No.	意見No.	意見内容	市の考え等
2	8	<p>【35ページ 将来都市像1 政策3 ○まちなにぎわい】</p> <p>中心市街地（秋田駅前）はイベントの増加やクルーズ船乗船客により、以前よりにぎわっているように感じます。しかしながら一般的な市民が駅前から足が遠のく理由の一つとして自家用車で行きづらいということが課題としてあるように感じます。例えば、秋田市公営駐車場は近隣の商業施設で買い物をするると共通駐車券を発行していただけるのですが、その有効期限が当日限りになっています。仮にこれが3か月でも有効期限が先であれば、ちょっとした買い物でもまた行こうかなという動機づけにつながるのではないかといつも思っております。</p>	<p>中心市街地への来街は、自家用車のほか、自転車、バス、電車等、多様な交通手段があることから、施設間連携や、SNS等を活用した効果的な情報発信など、これまで以上に歴史・観光・商業などの各分野を結び付けた取組を展開し、市民の皆様にとって様々な交通手段を使って中心市街地を訪れる機会・目的となるようさらなる活性化を図ってまいります。</p> <p>共通駐車券の有効期限に関するご意見については、事業の実施主体に対して情報提供いたします。</p>
	9	<p>【将来都市像5 緑あふれる持続可能なまち】</p> <p>近所に高清水公園があります。桜の名所として春には桜のきれいな場所なのですが、桜の木の老化により、枯れたり切られたりして数が減少しています。景観といった急を要さない話ではありますが、木の成長は長く時間がかかりますので、少しずつでも伐根し植樹し、未来に繋げることが必要なのではないかと思えます。高清水公園に限らず木の成長スピードを考慮して緑あふれる持続可能なまちの創造を期待しております。</p>	<p>秋田城跡史跡公園内の桜については、公園の整備において地域団体の協力を得ながら大路周辺などに植栽しており、引き続き適切な維持管理に努めてまいります。</p> <p>市道上の桜などの街路樹については、通行の支障になる枝を剪定しているほか、枯死や腐朽などにより倒木のおそれがある場合には、伐採しております。いただいたご意見を参考に、適切な道路維持管理に努めてまいります。</p>
3	10	<p>基本構想、推進計画ともに異論はありません。構想、計画をいかに実現していくかが、一番大事なかなと思います。</p>	<p>次期総合計画で定めた方針のもと、具体の事業を着実に実行していくとともに、計画策定後においても、進捗状況などについて市民の皆様にも共有されるよう進めてまいります。</p>
4	11	<p>1. よいと考えられる点</p> <p>若い世代のワークショップ開催で得られた意見などを基に、サブタイトルに「共感と共創で輝く」というメッセージを含めたのは印象が良い。</p> <p>7ページにある「重点改善分野」の図表も見やすく課題がわかる。</p>	<p>次期総合計画における基本理念が、市民の皆様にも共有されるよう努めてまいります。</p>

提出No.	意見No.	意見内容	市の考え等
5	12	<p>大変膨大な計画作成ご苦労さまです。市長が交代して「これからどうするか」と考えなければならない事が山積みでとても苦慮されているのが伺えます。秋田市がこれからどうなっていくのか私にはわかりませんが、何をすることも「人材」がないと身動きが取れないと思います。</p> <p>人がいなければ税収がなく、アイデアが出なくて対応のしようがありません。</p> <p>教育水準が高いと言われている秋田県の子供達は高校を卒業したらどこに消えてしまうのか？県外に出て学習してまた戻って来てくれるのか？</p> <p>ここが肝心だと思います。県内(秋田市)で働くにも低賃金と不十分な福利厚生で県外に出ざるを得ない状況が続いている限り秋田市の先は暗いと思われます。若い人材を確保して県外に出て学んでも秋田市に戻って来てくれる体制作りができていないと文化もスポーツも始まりません。</p> <p>竿燈祭り以外に目立った観光資源がない秋田市ではありますが、「秋田市に行かなければ得られないモノ」を増やして観光客等外から来る人を呼び込んでいかなければなりません。人・モノ・カネが揃わない自治体は必ず衰退します。</p> <p>私の場合、野球観戦のため長く名古屋に旅行を継続していた経験から「広告宣伝の巧さ」「人材確保と活用方法」「交通の便利さ」が秋田市とは格段に違うと感じました。秋田の人は「東京で完結」してしまう傾向が強いようですが、地方の大都市をしっかりと見て外の世界をもっと知るべきだと考えています。「稼げない・学べない・遊べない」秋田市では人が離れていくばかりで外から寄りつく人も少ないのではないのでしょうか。</p> <p>結局人が流出してしまい、自然減が追い打ちをかけて秋田市には優秀な人材が残らず、高齢者と病人ばかりが取り残されてしまっているのが実情だと考えていて非常に悲しくなります。掛け声だけは立派で大きくても実行する人材確保ができなければ絵に描いた餅になってしまって空回りします。</p> <p>「まずは人を確保して」生活していけるだけの収入が得られるようにするのが自治体の最大目標ではないでしょうか。</p> <p>行政庁だけに優秀な人が集まるだけではなく、民間にも必要です。県外出身者ゆえに秋田県人特有の「今が良ければいい」という風潮が目立ちます。しかしそれでは先がありません。人口減少はそのツケが回って来ている状態でこのままでは身動きが取れなくなると予想していました。</p> <p>私は長男で跡取りゆえに東京から戻って来た身である程度外の世界を見て来ましたが、秋田の時間の流れがゆったりのんびりしている空気が良くも悪くも現状を作り出したと思いました。「秋田感覚」で名古屋市を歩いていると踏み潰されてしまいます。</p> <p>歩くスピードから違うのです。治安も悪いですから気を緩めてノホホンとしていると何かしらトラブルに巻き込まれるのでセントレアに降り立った瞬間にスイッチを切り替えてピリピリしながら歩きます。都会とはそういう場所です。</p> <p>厳しい事を並べましたが、秋田市の存続を願っての苦言です。どうかご容赦ください。</p>	<p>ご意見のとおり、将来にわたって元気で豊かな秋田市であるためには、次代を担うこども・若者など、人づくりが重要であり、「プラスの循環戦略」のもと、まずは民間企業が「稼ぐ」ための環境づくりとサポートに重点的に取り組み、民間と行政がそれぞれ稼いだ原資を、人・まち・くらしに再投資してまいります。</p> <p>こうした好循環を創出することにより、まち全体の価値を高め、市外からの評価が上がり、地価の上昇や交流人口の増加、Uターン者の増加などにつなげてまいりたいと考えております。</p>

提出No.	意見No.	意見内容	市の考え等
6	13	<p>秋田県、秋田市にとって少子高齢化問題は、切実です。十分話し込まれ議論されつくした内容かもしれませんが、県内の若者が都会へと流れてしまうのを引き止められるのは、やはり魅力的な企業、就職先が必要です。市内の大学に県外から入学し、卒業していく優秀な若者をここ秋田にそのまま定住してもらうような企業がほしい。院生卒業生が専門性を身に付けても、それを発揮すべき企業から、「それ程の専門性はなくても・・・」と言う話があったというのを聞いた事があります。もったいない話です。企業側の意識改革のためにも公的機関からの後押しも秋田では必要だと思えます。</p>	<p>本市では、賃金水準が高く、若い世代の活躍が期待される首都圏企業の誘致に取り組むとともに、地元企業による先端設備の導入や事業の拡大を支援しているところでもあります。</p> <p>こうした取組とともに市内企業と学生をつなぐインターンシップやマッチング機会の創出に注力しているところであり、今後も専門性の高い知識や技術を学んだ学生のニーズに合った職場を増やせるように取り組んでまいります。</p>
7	14	<p>秋田県の人口減少が12年連続で最も高い減少率で、特に注目したいのが若者の人口の流出であります。</p> <p>理由としては、「雇用の場の確保」が最も高く「非正規雇用の改善や収入の増加」「若者にとって魅力あるまちづくり」が必要であることが分かります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で経済も悪化、雇用情勢の低迷にもつながっております。</p> <p>これからの秋田市は、交流人口を拡大し秋田市民に希望と元気を与える施策の検討が急務と思われれます。</p> <p>若者の人口流出を減少させるためには、大企業、中小企業、地域に根ざした魅力ある業界で選択できる範囲が広がり「雇用の場の確保」と「賑わいがあり魅力のあるまちづくり」が必要と思われれます。また、「魅力あるまちづくり」を実現することにより、県外からも観光客が訪れ交流人口の拡大も図れます。</p> <p>そこで、要望しますが、民間企業の力を活用した事業パートナーであるイオンタウンと早急に協議をして、外旭川地区まちづくり事業の実現をお願いします。</p> <p>外旭川地区まちづくり事業を実現することで、経済の活性化と秋田市民に希望と元気を与えます。</p> <p>① 若者の人口の流出を減少させ、賑わいと魅力あるまちづくりで雇用の創出。 ② 交流人口を拡大させ経済の活性化と賑わいと魅力あるまちづくり。 ③ 泉外旭川駅、都市計画道路泉外旭川線、秋田港アクセス道路、北ICとのアクセスを接続し渋滞緩和と各々の相乗効果を図る。</p>	<p>ご意見のとおり、若者の人口流出が本市の課題と捉えており、次期総合計画においては、企業誘致や起業の促進、交流人口の拡大に向けた戦略的PRや魅力向上、若者の希望や挑戦を応援するまちの推進などに取り組み、若者が豊かさや活気を感じて住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちづくりを図ってまいりたいと考えております。</p> <p>外旭川地区のまちづくりについては、商業施設を中心とした第三次産業のみではなく、民間からの新たな投資、雇用を生み出すものづくり分野や、外から人や消費を呼び込める誘客機能等を含む、本市の経済にとってプラスとなるオンリーワンの内容にすることなど、本市が求める要件を事業パートナーであるイオンタウン株式会社に提示した上で協議を行ってきたところであり、事業パートナーから提案された事業内容がこうした要件を満たし、本市の未来に有益であるという見通しを市民の皆様と共有できることが、本事業を進めるかどうかを見極めるポイントになるものと考えております。</p> <p>泉外旭川駅は鉄道とバス・タクシーなどをつなぐ交通結節点として、人々の自由な移動環境と周辺地域の生活環境の向上を図るために整備されたものであります。</p> <p>また、道路網については、本市の都市計画に関する基本的な方針である「第7次秋田市総合都市計画」において、泉外旭川駅や北ICなどの交通結節点および拠点間をつなぐ効果的・効率的な整備を進めることとしております。</p>

提出No.	意見No.	意見内容	市の考え等
8	15	<p>秋田に移って5年が過ぎようとしています。以前は、現在有る建物よりもっと考えていましたが、道路の陥没や下水やらで今現在の補修がままならない現状を知りました。便利だったり新しい物を願うよりも現状を維持して頂くことの大切さを知り、これからは、災害に備えたり、道幅を使いやすくする等、又、学校等の統合も必要だろうが通学範囲は安全面から考えても効率ばかりを求めず、人作りに意識を向けて江戸時代の寺子屋等を参考にして人材を活かす秋田県を目指して欲しいと願っています。秋田らしさ、日本らしさを活かしてお金のあまりかからない県民の力を使ってより良い明日を。仕事しやすい環境作りと地産地消を宜しくお願いします。</p>	<p>市政運営において最も大切にしたいことは「このまちで生きる市民の暮らし」でありますので、市民の皆様が安全安心で、豊かさと活気を感じて住み続けられる秋田市づくりを進めてまいります。</p>
9	16	<p>人口の増減は気にしない。市民が生活したい、生活しやすい市にする。 皆様が安心して仕事ができるようにする。 案 こどもを24時間365日予約無しで受け入れてくれる場所を用意する。</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進む本市において、人口減少対策に取り組むことは不可欠であります。市政運営において最も大切にしたいことは「このまちで生きる市民の暮らし」であり、市民の皆様が豊かさと活気を感じて住み続けられる秋田市づくりを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>いただいた案につきましては、安心して仕事ができるようにすることは重要と捉えておりますので、参考とさせていただきます。</p>